

## 平成27年度東京都教育委員会社会教育指導者研修「学校教育支援施策研修」(第1回)(報告) 「オリンピック・パラリンピック教育」支援の可能性

～『東京のオリンピック・パラリンピック教育を考える有識者会議 最終提言』を踏まえて～

平成27年12月21日、2020年開催のオリンピック・パラリンピックに向けた、『東京のオリンピック・パラリンピック教育を考える有識者会議 最終提言』※1(以下『最終提言』)が出されました。

今後、都内全ての公立学校において「オリンピック・パラリンピック教育」の推進に向けた取組が展開される中で、学校教育支援を行う立場の関係者が、『最終提言』への理解を深める機会を設けました。

またあわせて、「オリンピック・パラリンピック教育」推進の観点から、多様な地域の教育資源の活用を踏まえた教育支援の可能性について、取組事例等からも学ぶ機会としました。

### ■開催日時、開催場所

平成28年2月16日(火) 午後2時から午後4時半まで  
東京都教職員研修センター 7階 703研修室

### ■対象

- ◆東京都及び区市町村教育委員会職員(生涯学習・社会教育所管課及び指導室等)等
- ◆区市町村教育委員会学校支援ボランティア推進協議会事業等学校支援所管部署担当者
- ◆教育支援コーディネーター  
(学校支援コーディネーター、地域コーディネーター等「学校支援ボランティア推進協議会事業」における小・中学校コーディネーター)
- ◆地域教育推進ネットワーク東京都協議会会員団体

### ■参加者

行政関係者 12名 コーディネーター35名(小学校25名、中学校10名)  
地域教育推進ネットワーク東京都協議会会員団体 18名 その他1名

計66人

### ■プログラム内容

- 講義 『東京のオリンピック・パラリンピック教育を考える有識者会議 最終提言』について  
引場信治(東京都教育庁総務部教育政策課 オリンピック・パラリンピック教育施策担当課長)

『最終提言』を受けて、東京都教育委員会が1月に策定した東京都におけるオリンピック・パラリンピック教育を、都内全ての学校で展開していくための実施方針※2を中心に、「オリンピック・パラリンピック教育」の「具体的な取組に関する基本的枠組」を解説しました。また「オリンピック・パラリンピック教育」が目指すものの一つとして、「ボランティア文化」が根付いた「共生・共助社会の実現」があることを説明しました。



- 事例報告 「平成27年度オリンピック・パラリンピック教育推進校」における取組について

27年度に600校が指定されているオリンピック・パラリンピック教育推進校※3の中から、千代田区立お茶の水小学校と調布市立第六中学校に、実際の取組について御報告いただきました。

#### 事例報告①

報告者：清水智子(千代田区立お茶の水小学校副校長)

千代田区立お茶の水小学校では「オリンピック・パラリンピック教育」の具体化として、「運動・スポーツに親しむ」「社会貢献」「自己実現」「共に生きる」の4つの「身に付けさせたい資質・能力」を掲げています。

全学年年間35時間程度を目安とし、各教科・単元と関連付けた全体計画と、その計画の具体化である取組内容について紹介していただきました。



#### 事例報告②

報告者：高橋剛三(調布市立第六中学校副校長)

調布市立第六中学校では「オリンピック・パラリンピック教育」の目標や学校経営上の位置付けとして「国際理解教育」「体力向上」「パラリンピック競技への理解」「おもてなしの心と道徳教育による人間形成」を掲げています。

取組の過程を踏まえ、企画及び外部の人材、団体等の協力依頼に関する成果や課題について、具体例を挙げながら紹介していただきました。



参加者に学んだ点や今後の課題などをあげていただきました（アンケート感想から抜粋）

#### ○行政

- ・現在小学校で取り組んでいることが、そのままオリンピック・パラリンピック教育としていかすことができるかと理解できた。
- ・オリンピック・パラリンピック教育は、学校と地域がつながるよい機会であり、子供達にとってもよい教育になると思った。

#### ○コーディネーター

##### 〔小学校〕

- ・オリンピック・パラリンピック教育は、既存の教育活動を派生させたり、工夫して行ってもよいということ学んだ。
- ・「夢・未来プロジェクト」※4で学校に紹介していただき、パラリンピアン、サポーターの方々に行っていた授業がとてもよかった。多くの学校がこの制度を活用できればよいと思う。

##### 〔中学校〕

- ・子供たちがオリンピック・パラリンピック教育を通じて、日本の国際貢献を考えるよいきっかけになればと思った。
- ・コーディネーターがどのようにかかわるのかは課題だと思った。

#### ○企業・NPO 等団体

- ・資料と事例報告で、オリンピック・パラリンピック教育の意味、内容がよくわかった。各校での自主的な取組、やる気がカギをにぎっていると思った。外部団体として、どのようにかかわっていくとよいのか考えさせられた。
- ・学校側が年間指導計画を作る際に、具体的に困っている項目について知ることができた。
- ・企業として何が出来るのかを考えるよいきっかけになった。



研修の最後に、「わかったこと」「不安なこと」を記入した付せんを貼りだして、参加者間で共有しました。

#### 参考) 平成 27 年度「オリンピック・パラリンピック教育」関連サイト

##### [東京のオリンピック・パラリンピック教育を考える有識者会議最終提言について（平成 27 年 12 月 21 日）](#)

「東京のオリンピック・パラリンピック教育を考える有識者会議」において、東京都が今後、推進するオリンピック・パラリンピック教育の目標や内容について、検討したまとめです。

##### [「東京都オリンピック・パラリンピック教育」実施方針の策定について（平成 28 年 1 月 14 日）](#)

東京都におけるオリンピック・パラリンピック教育を、都内全ての公立学校で展開していくための実施方針です。

##### [平成 27 年度オリンピック・パラリンピック教育推進校について（平成 27 年 3 月 5 日）](#)

都内公立学校を対象として募集し、幼稚園、小学校、中学校は、区市町村教育委員会の推薦により、また、都立学校は、校長からの申請に基づき指定した。平成 32 年（2020 年）の東京大会までの間、様々なオリンピック・パラリンピック教育を展開していくために、平成 27 年度に様々な教育実践や研究開発等を行います。

##### [「夢・未来」プロジェクトの実施について](#)

東京都教育委員会及び生活文化局が、オリンピック・パラリンピック教育のより一層の充実を図るために、幼児・児童・生徒がアスリート等との直接交流を通じてスポーツのすばらしさを実感し、夢や希望を持ち続けることができるよう、オリンピックやパラリンピアン等を学校に派遣する事業です。

[8 月・9 月実施校一覧](#)

[10 月実施校一覧](#)

[11 月実施校一覧](#)

[11 月・12 月実施校一覧](#)